マーケティング研究会2026／2026年6月～2027年4月（3126013）

研究テーマ：マーケティング変革を牽引するIT組織と人材の進化～役割再定義・共創モデルの構築・AI活用による価値創造～

開催日時	2026年6月5日(金) 14:30-17:30会場 2026年6月29日(月) 14:30-17:30会場 2026年7月24日(金) -25日（土）沼津合宿 2026年9月3日(木) JUASスクエア 2026年9月7日(月) 14:30-17:30会場 2026年10月2日(金) 14:30-17:30会場 2026年11月6日(金) 14:30-17:30会場 2026年12月4日(金) 14:30-17:30会場 2027年1月22日(金) 14:30-17:30会場 2027年2月26日(金) 14:30-17:30会場
参加費	年間参加費　84,700円（１名様あたり　消費税込み、合宿現地までの交通費含まず）【受講権利対象外】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NBF東銀座スクエア２F）
対象	会員限定 中級
定員	無制限
特記	・募集受付のシステム上、定員を外しています。 ・各研究会の募集人数は20名～40名程度としています。 　締切日までに申し込みいただいた方の中から、「申込動機・研究会への期待」の記入内容を参考に、選定させていただく場合があります。 （１）応募にあたってのご注意 ・各研究会の応募に当たっては、JUAS申込責任者（IT部門長の方など）の承認を受けた上で、参加希望者ご本人がWebページよりお申込みください。 ・申し込みは原則　1研究会に、1社1名です。 （研究会によって複数名の場合もあります。各研究会募集案内を確認ください） ・1名分の参加枠を複数人で交代して参加することはできません。 　代理参加も、原則不可となります。 ・研究会内での営業・勧誘活動、迷惑行為はご遠慮ください（退会をお願いする場合があります） （２）応募から確定までのスケジュール ・応募締め切り 2026年4月28日（火)17時 　＊先着順ではありません。 ・研究会参加の確定のご連絡　5月12日（火）頃を予定 　＊参加可否は参加希望者ご本人にメールでご連絡いたします。 　　（「応募（申込み）＝参加確定」　ではありません） 　＊定員を超える場合、参加をお断りすることがあります。 （３）参加費のご請求 ・5月12日以降、各参加者のマイページにWeb請求書が掲示されます。 　「請求書ダウンロード」ボタンよりご査収の上、お振り込み手続きをお願いします。 　なお、ご入金期限は7月末日となります。 　（入金予定日はマイページから初回開催日より90日先までの日程で変更が可能です） （４）参加の前提 ・各研究会の募集要項をご確認ください。 https://juasseminar.jp/seminar-event/others/pdf/kenkyukaiboshu2026.pdf

主な内容

■研究会参加にあたって、下記内容についてご確認ください
A. 会場参加の場合　　【JUAS会議室（NBF東銀座スクエア２F）】
B. オンライン参加の場合　【セミナーのオンライン受講について 】

■合宿あり（沼津１泊２日）

■募集は締切りました■

研究テーマ：マーケティング変革を牽引するIT組織と人材の進化～役割再定義・共創モデルの構築・AI活用による価値創造～
部会長　　一柳昌也氏（全日本空輸株式会社）
副部会長　荘司耕平氏（スミセイ情報システム株式会社）
副部会長　太田拓輝氏（株式会社プライド）
副部会長　竹内裕輔氏（アフラック生命保険株式会社）

（1） 研究会概要・方針

AIの民主化により事業部門が自らITを利活用する中、情シス部門は従来の構築・運用型から「収益に貢献する価値提供型」への転換を迫られています。
本研究会では、事業部との新たな共創モデル（BizDevOps）の構築、収益に貢献するIT人材の定義と育成方法、さらにAIエージェントによる購買行動の変化を見据えた顧客体験の再設計という3つの視点から、IT組織と人材の進化についての研究を行います。
参加者の皆様には、ご自身の関心や自社の課題に合わせ、これら3つの研究テーマから1つを選択して活動いただきます。
各分科会では、実例ベースの議論やフィールドワークを通じ、実務に即した知見を1年かけて集約します。

【JUAS研究会2026 マーケティング研究会 テーマ】

テーマ1	テーマ2	テーマ3
事業会社のマーケティングにおける情報システム部門の 役割再定義と共創モデルの構築	成果責任を担えるIT人材の進化モデル ―― 収益にコミットするキャリアと育成	AI共生時代の「顧客体験」リデザイン ―― エージェンティック・コマースが変えるマーケティング
課題認識	課題認識	課題認識
SaaS、AIの民主化(DX／AX)などIT環境の導入・利用がITやデータの専門知識がなくともできるようになってきている。 マーケティング事業部門が独自にIT／データ利活用基盤／AI基盤を導入・活用し、情シス会社／部門の「中抜き」状態が発生してきている(As-Is)。 そのメリット・デメリット・リスクを認識したうえで、双方ともビジネスの進め方を転換していく必要があるのではないか。	・ITがコストセンターからプロフィットセンターへ変容し、IT人材にも売上責任が問われ始めている。 ・「マーケティングに強いIT人材」の具体的定義や、その育成・キャリアパスが不明確。 ・生成AIの普及が、IT人材の役割進化を加速させる要因(あるいは脅威)となっている。 ※ 上記を踏まえ、自他問わずIT人材の今後のキャリア・育成を課題と捉えている方にご参画頂きたいです。	・AIエージェントが消費者の「代理人」として意思決定を代行することで「比較・検討」を中心に購買プロセスの変化が生じている。 ・技術的な最適化(GEO／AEO等)だけでは、AIに選ばれる論理と、人に選ばれ続けるための信頼(ブランド価値)を両立・維持できない。 ・推薦・交渉・決済・アフターケアまでが自動化される「エージェンティック・コマース」(人とAIの両面)への対応に企業は迫られている。
研究活動の方向性	研究活動の方向性	研究活動の方向性
・マーケティング事業部門と情シス部門がお互いの強みを活かし、弱みを克服する共創モデル(BizDevOps)を定義(To-Be) ・To-Beに向けて、お互いに必要となるアクションを定義し、成果物としてまとめる。 ・マーケティング効果を最大化する共創プロセスの策定。情シス会社／部門が習得すべき専門性や獲得すべき資産の定義。	・各社の「実例」に基づいた、マーケティング領域で成果を出すIT人材のキャリアとマインドセットの抽出。 ・IT部門が踏み込むべき成果責任の範囲(レベル)と、そのために必要なスキルの定義。 ・生成AI活用がIT人材の能力拡張に与える影響の分析と、それらを支える育成制度のあり方の検討。	・消費者がAIに意思決定を委任する環境下における、購買プロセスの変化についての検討 ・購買プロセスの変化に伴い、企業に必要とされる対応テーマ(ブランド、データ、規制、組織、オペレーション等)の明確化 ・各テーマにおける具体的な対応のありかたについての探求
活動の進め方	活動の進め方	活動の進め方
・前期：各社の前提(事業部門主導型／情報システム部門主導型など)を整理し、それぞれのAs-Is／To-Beを描いたうえで、「失敗事例」、「コンフリクト事例」などを共有し、Gapの根本原因を深掘り。 ・中期：先進企業の事例研究、事業部門・情シス部門それぞれへのアンケート調査などを通じた仮説検証。 ・後期：各社の環境(企業規模、ITリテラシー、組織風土)に合わせた「事業・情シス共創フレームワーク」などの成果物作成。	・フェーズ1：課題認識の共有、各社における生成AI活用状況の棚卸し ・フェーズ2：“マーケに強いIT人材” の仮説設定 ・フェーズ3：スキルセット＆マインドセットの整理 ※ 生成AI前後の比較、業務レイヤー(上流／下流)ごとの分析、人材レベル(初級～上級)による違い など ・フェーズ4：“成果責任を担えるIT人材” の育成ロードマップを作成　※業界ごとの違いも織り込む想定	・前期：文献調査等を通した購買プロセス変化についての概観の整理、参加各社における購買プロセス変化に対する取組状況や課題設定の共有、参加メンバーの関心事や実務上の課題に基づき深掘りするテーマを決定 ・後期：深堀テーマに対する先進事例の研究や、有識者等へのヒアリングなどフィールドワーク、実践的知見を集約した成果物の取りまとめ
キーワード	キーワード	キーワード
IT/データの民主化、DX/AX、SaaS、AIエージェント、MA/CDP、シャドーIT、役割再定義、共創、組織能力、価値提供	成果責任、IT人材、キャリアパス、マインドセット、生成AI、スキル定義、育成制度、売上貢献、組織開発、レベル定義	エージェンティック・コマース、AIエージェント、意思決定の委任、GEO/AEO、購買体験、自動決済、ブランド、接点設計

マーケティング研究テーマ＞＞＞https://x.gd/sEdjo

（2）対象者

・マーケティングを主体的に学び、会員間で学んだことを積極的に共有できる方（教科書を初回に配布予定）
・会場開催（全９回）に現時点で参加可能な方
・分科会活動（分科会により頻度/開催方法は異なる。通常4～6回:2h）に、他会員と日程等を相談の上、参加ができる方

（3）特記事項

・必須ツール：Box，Slack（JUAS事務局からご提供します）、オンライン会議ツール（分科会等で適宜使用します）
・申込フォームの「通信欄」に、「申込動機・研究会への期待」をご記入ください。ご応募多数の場合はアンケートを参考に選考となる場合があります。

（4）開催予定日

全９回
・全体会は、合宿を除き、月曜日または金曜日にJUAS会議室（東銀座）にて開催します
・全体会は対面参加となります
【分科会】
全体会での開催に加えて、自主開催としての実施を予定。
※自主開催分の開催日程・方法（集合／オンライン）はメンバーの要望等により決定
【有志勉強会】
自主開催としてオンラインでの実施を予定。
※開催日程等は主催メンバーから案内

※JUAS研究会共通のイベントをあわせてご予定ください※
◆JUASスクエア2026
研究会参加費には参加権利が含まれます。ぜひご参加ください。
・日時：2026年9月3日（木）
・会場：ハイアットリージェンシー東京（西新宿）
https://juas.or.jp/seminar_event/event/

◆研究活動成果報告会（Jフェス）
JUAS研究会活動の締めくくりとして報告会にご参加ください。
・日時：2027年4月中旬　詳細は追ってご連絡いたします。
https://www.youtube.com/@JUASwebchannel/videos